

議員視察研修

さる22年11月18日〜20日まで、行政、財政の運営、また六次産業化による活性化、地域おこし、地域対策の取り組み等などの、実態調査の目的で、長野県内の2村、山梨県内の道の駅を、視察。議員全員の調査報告書を抜粋し、調査結果を報告致します。

※ 調査報告まとめ

3地区での共通点があった。

下條村 【何もない村だが、危機感だけはあった】

小川村 【年寄りと空き家だけ増え村はなくなる】

豊富地区 【農業は全滅するという危機に陥った】

このような危機感を共有していた。課題を直視し、先送りせず、明快

な計画性、実効性、適正なリーダーの指示、組織と住民の協調した行動力があつた。

計画が功を奏した人たちの、自信に満ちた説明態度が印象に残る。

わが村は、世界屈指の知名度と自然環境がある。視察した村よりいろんな条件で恵まれている。南阿蘇村の将来をしっかりと見つめ、行動する勇気が必要ではないか。



下條村：宮島総務課長より説明をうける

研修① 長野県下條村における財政運営と子育て支援事業、国民健康保険と医療費の軽減対策

下條村は、長野県南部に位置する山深い単独村として121年の歴史がある。日本でも財政がトップクラスのこの村の政策として次の様な特色を見た。

政策	効果
職員、村民意識改革	作業効率UPによる人件費の削減
生活環境整備の資材支給事業	道路等ハード事業の予算削減
若者定住促進住宅建設	人口の増加、地域活性化による医療費の削減
行財政改革	多額の財政調整基金保有で、自立行政運営の拡大

印象に残った下條村長の言葉
【行政は文学的だが財政は数字だ。甘くない】

【国や県は、地方のことは地方に任せればよい、自己責任で工夫する。それができない地方ならもう、だめだ】

研修② 長野県小川村における六次産業による地域活性化

昭和60年代に入り急激な高齢化過



おやきの実演及び説明をうける